

令和2年2月20日

中央漁業指導所・水産試験場

環境調査結果のお知らせ

令和2年2月20日午前9時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15～17℃、塩分33～35でした。
透明度は4～7mで、有毒種のアレキサンドリウムが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温15.3～17.4℃、塩分32.8～34.6でした。前回調査時(R2.1.10)と比較して、水温は全層で1.2～1.7℃下降しました。塩分は全層で0.1～0.4下降しました。

溶存酸素量(表3)

測器故障のため、データの測定ができませんでした。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0～7.0mでした。

検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で151cells/ml確認されました。**本種は二枚貝の麻痺性貝毒の原因種ですが、アレキサンドリウム属の中には、魚類に毒性を持つ種類がいますので注意が必要です。**

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

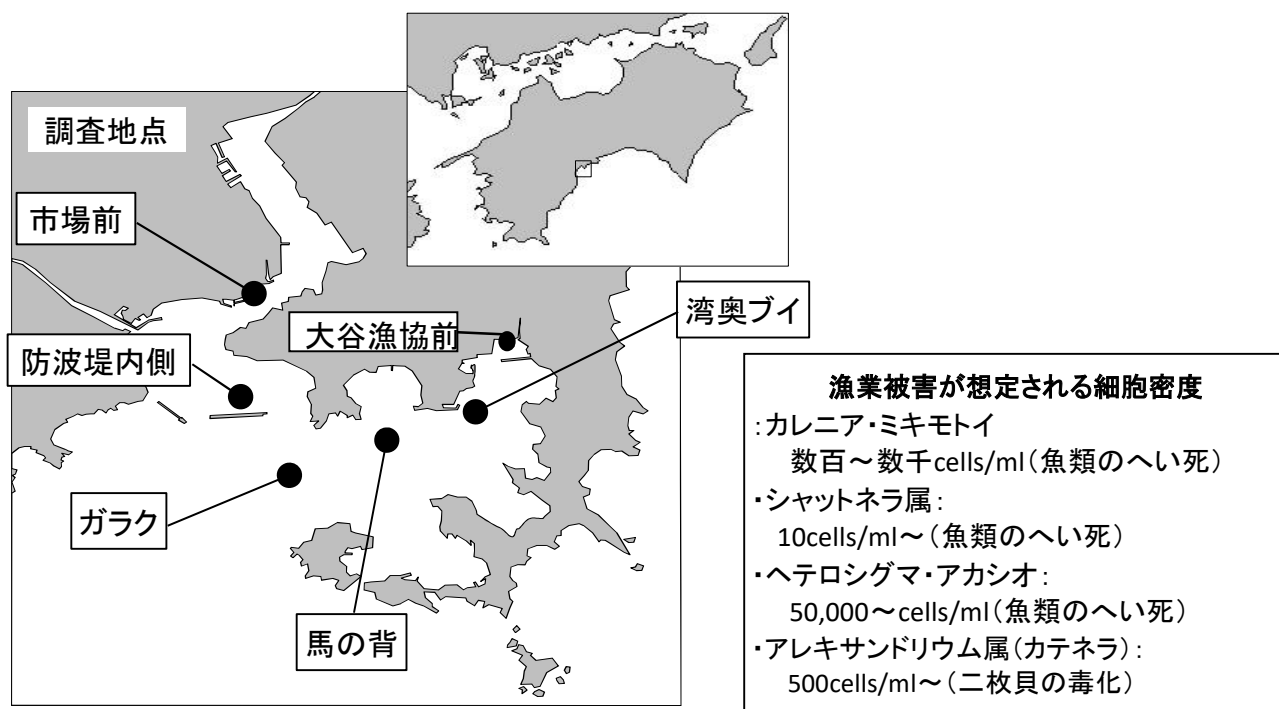


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.1.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	16.1	16.3	15.8	16.0	16.1	17.8	▲ 1.7	16.2
2m	16.1	16.3	16.8	15.3	16.4	17.9	▲ 1.5	17.0
5m	16.0	16.3	16.8	15.9	16.4	17.7	▲ 1.3	17.3
10m	16.1	16.2	16.8	17.2	16.4	17.6	▲ 1.2	—
B-1m	16.0	16.2	16.8	17.4	16.3	17.5	▲ 1.2	17.2

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.1.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.2	34.3	34.2	32.8	34.2	34.6	▲ 0.4	33.4
2m	34.2	34.3	34.5	33.6	34.3	34.7	▲ 0.4	33.9
5m	34.6	34.3	34.5	33.8	34.5	34.6	▲ 0.1	34.4
10m	34.2	34.3	34.5	34.5	34.3	34.6	▲ 0.3	—
B-1m	34.2	34.3	34.5	34.6	34.3	34.7	▲ 0.4	34.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.1.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.6	—	6.8	—	6.7	—	#VALUE!	—
2m	6.4	—	6.2	—	6.3	—	#VALUE!	—
5m	6.6	—	6.1	—	6.3	—	#VALUE!	—
10m	6.4	—	—	—	6.4	—	#VALUE!	—
B-1m	6.5	—	—	—	6.5	—	#VALUE!	—

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.0	24.7	14.6	15.8	11.5
透明度	5.5	4.0	7.0	4.5	3.5
前回(1/10)	6.5	9.0	11.0	6.0	4.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	アレキサンドリウム属	アカシオ・サンガイネア	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	7	2	
	2m	0	0	18	9	0
	5m	0	0	14	0	0
馬の背	0m	0	0	2	4	0
	2m	0	0	0	3	0
	5m	0	0	2	0	0
ガラク	0m	0	0	0	0	1
	2m	0	0	1	0	4
	5m	0	0	3	0	0
津波防波堤内側	0m	0	0	0	0	0
	2m	0	0	5	0	0
	5m	0	0	0	0	3
市場前	0m	0	0	0	0	0
	2m	0	0	0	0	0
	5m	0	0	0	0	2
大谷漁協前	0m	0	0	151	0	0